

## 令和5年度 園評価保護者アンケート結果報告

R5年10月に実施したアンケートの集計が終わりましたのでご報告します。  
 今回は、125家族にアンケートをお渡しし、94家族の方にご回答(提出)いただきました。  
 お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

自由意見につきましては、同等、同類と思われるご意見等はまとめて掲載させていただきました。

※評価の段階 4:とてもそう思う 3:ややそう思う 2:あまり思わない 1:まったく思わない  
 (%)

No.	内 容	4	3	2	1
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように説明や情報を提供をしている。	46	45	9	0
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	76	23	1	0
3	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	60	30	10	0
4	お子さんは、園の生活を通して成長している。	83	17	0	0
5	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	63	36	1	0
6	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園と情報交換したり、相談したりできる。	50	38	12	0
7	園は、基本的な生活習慣を意識し、指導している。	65	33	2	0
8	園は、友達と仲良くする気持ちを育て、してはいけないことやルールを守る態度を育てようとしている。	70	28	2	0
9	園は、本読みや貸し出し図書等、子ども達が絵本や物語に親しむ活動を行っている。	65	32	3	0
10	野菜を育て、収穫や食育指導を通して、食に関する興味や関心を育てている。	74	23	2	1
11	園の給食は子ども達の健康や成長に役立っている。	74	21	3	2
12	園のセキュリティ対策はしっかりしている。	56	38	5	1
13	園は、地震・土砂・火災・不審者などに対する防災に取り組んでいる。	70	27	3	0
14	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で特色ある教育・保育を行っている。	60	35	5	0
15	園は、手紙やインスタ、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	58	37	5	0
16	1号・2号・3号認定が同じ環境で、幼児教育・保育が進められることは望ましい。	61	36	3	0
17	園の職員としてまとまりがあり、クラス関係なくどの子どもに対しても温かく接してくれている。	74	24	1	1
18	園は、日常的に感染防止対策に取り組んでいる。	63	36	1	0

# 令和5年度 南さくら幼稚園自己評価(職員)集計結果

評価の段階 4:とてもそう思う 3:ややそう思う 2:あまり思わない 1:まったく思わない

No.		内 容	4	3	2	1
1	教育方針	教育目標や園経営方針を意識して、教育活動に反映させている。	64	36	0	0
2	教育目標	目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。	40	48	12	0
3	組織運営	園の方針に基づき、仕事の分掌に使命感と倫理観をもち、自分の特性を生かして指導にあたっている。	48	52	0	0
4	指導の工夫 改善	園児が主体的な遊び(遊びたくなる・話を聞きたくなる・話したくなる等)や体験的な活動をするために、反省を生かし、環境構成や指導方法を工夫・改善を行っている。	40	52	8	0
5	施設・設備の 安全管理	定期的に点検活動を行い、迅速に報告または処理して、危機意識をもって園舎内外の安全管理に努めている。	36	40	24	0
6		不審者等に対応する周到な配慮を行っている。	40	44	16	0
7	保険 安全指導	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	52	44	4	0
8	保育・教育 について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	72	28	0	0
9		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	56	44	0	0
10	自己肯定感を 育む指導	一人一人の園児の気持ちを受容し、共感しながら応答的にふれあう等、安心感や自信を持たせる援助をしている。	58	47	0	0
11	発達の特性に 応じた指導	個別の教育支援計画を活用し、関係職員と共通理解し合っ、個に応じてより適切な支援を行っている。	50	46	4	0
12	社会性の育成	人と関わる楽しさを味わい、自分の思いを伝えあう活動を工夫している。	56	40	4	0
13	基本的生活 習慣の指導	基本的な生活習慣(あいさつを交わす・衣服の着脱・排泄等)の自立を図るための指導をしている。	56	44	0	0
14	読書活動の 指導	貸出図書や園での読み聞かせ、チャレンジ週間等を活用し、本に興味を持ち、話の内容、言葉の楽しさを味わい、友達また保護者と共有できるよう活動を行っている。	50	46	4	0
15	特色ある 園活動の指導	主体的に(遊びたくなる・話を聞きたくなる・話したくなる等)人・自然・ものに関わる場を設定し、充実感や満足感を得ることができる遊びや体験活動、環境構成を工夫している、	48	48	4	0
16	日課について	一日また週の流れは現行でよいか。	40	52	8	0
17	行事について	行事の種類や実施回数は適切か。	42	50	8	0
18	情報について	園児や保護者に対する個人情報を適切に取り扱っているか。	72	28	0	0
19	保育者の資質 について	自分の感情を把握し、受け入れたうえで、冷静にコミュニケーションしている。	32	68	0	0
20	保護者との 連携	園からの手紙やホームページ、インスタを通して家庭に情報提供するとともに、必要に応じて保護者から相談を受けたり、意見や要望を受け入れたりすることができている。	40	60	0	0
21	地域との 連携	地域行事への活動に協力的であり、必要に応じて地域の意見や要望を取り入れている。	36	46	18	0
22	小学校との 連携	小学校との連絡会や交流会、接続期カリキュラムやチャレンジ7等を活用し、連携に努めている。	41	41	14	4
23	食育について	園児や職員の健康を考えて給食の提供や食育指導を行っている	64	32	4	0

## 《自己評価についての考察と改善策》

- どの項目もおおむね達成されているが、2（あまり思わない）に回答がある項目については、検討の必要がある。
- 全職員での職員会で、お互いの活動について把握する機会を設ける。
- 未満児と以上児が別々に活動することが多いが、土曜日や延長保育での連携、振替休暇や有休取得、急な欠勤等、職員の補充などの連携をより深めていきたい。
- 令和6年度にICT化導入を検討する
- 未満児保護者の荷物負担が少なくなるようおむつの実費徴収やお昼寝簡易ベッドを検討する。
- 園の特色である有機野菜や無添加調味料を使った体質改善給食において、子ども達がしっかりと噛んでたくさん食べられるように同様の給食に取り組んでいる園へ研修に行く機会を設けたり、子ども達への食育の内容・回数など工夫改善していく。
- 園評価の結果等は、今までと同じく区長さんや民生委員の方に報告し、園の活動に理解してもらおうように努める。

## 《R5年度、実戸区長様より外部評価》

●いつも地域のことにも気配りして頂き、ありがとうございます。令和3年には、新園舎も完成し、駐車場や車の出入り口も整備され、地元の狭い道路を送迎車が通り抜けなくても済むようになり、感謝しております。また、この南地区の恒例行事である「三世代交流さわやか芸能フェスティバル」にも、子どもたちが「和太鼓」で出演し、フェスティバルを盛り上げてくださいました。ありがとうございます。

さて、この度、令和5年度の園評価アンケートを読ませて頂きましたが、保護者の評価も職員の自己評価も高評価であり、また、アンケートの意見にも真摯に対応されており、日頃外部から第三者として、園に対して好印象を抱いていますが、間違いなかったと納得している次第です。南さくら幼稚園から子ども達の明るい声が聞こえてくると嬉しくなります。子ども達が元気で健やかに育つことを願うとともに、園長先生はじめ職員の皆様の日頃のご努力に敬意を表します。

## 《自己評価の自由意見・感想など》

- ・体質改善給食は、子ども達・職員にとってもとてもよい給食なので、しっかり取り組み、園の大きな特色として根付いてほしい。時間がかかるかもしれないがよさが広まるといい。
  - ・改めて生活リズムの大切さに気付かされました。小さい子ほど生活リズムを整えることで生き生きと活動することができ、気持ちもコントロールできる等、色々なことに結びついていると感じ、その大切さを保護者の皆さんに伝えてきました。園では昼寝を早めに起こし、リズムが整うよう配慮してきたが、保護者の皆さんに伝わりきれず、リズムが崩れている子は、不安定な気持ちのまま登園することになり、活動と一緒に取り組む事が困難になってしまうことがある。これからも生活リズムの大切さを伝えていきたいと思う。
  - ・複数担任で連携をとって保育することの難しさ、個に合わせて集団の中で活動していくことの難しさも感じる年でした。個人差やそれぞれの個性、特長があり、集団の中でどのように活動していくと良いのか、どんな配慮をすべきか、悩み、担任間で沢山話し合いました。話し合うことで導くことができたこともあるので、今後も話し合いを大切に、より良い保育をしていけるようにしたいと思います。
  - ・他園へ給食研修に行ったり、全職員でオンライン研修を受けたり、職員全体が保育への意識を高めていくための機会が設けられ、とても良かった。
  - ・給食が変わったが、子ども達は、手づかみでおいしそうに食べ、納豆など今まで出たことのないメニューもたくさんおかわりが出来ていて、この先の身体、心の変化が楽しみです。
  - ・体質改善給食が始まり、最初はどうか不安の日々でしたが、少しずつ手順を覚え、味も安定し、満足のいく給食が作れるようになってきました。調理員さんとの関係もよく、コミュニケーションもしっかりとれています。まだまだな部分もありますが、少しずつ「美味しかった」「全部食べられた」などという園児の声も聞けるようになり、励みになっています。
- 保護者への情報発信がもう少し上手にできるとよいかと思うので、今後の課題です。

保護者の皆様のご意見や職員の評価結果と併せ、来年度も園児・職員共に充実した毎日を送れるよう努めたいと思います。